

腹部リンパ節転移に重粒子線治療を行った患者さんへ

量子科学技術研究開発機構では、腹部リンパ節転移に対する重粒子線治療を行っています。その安全性や有効性については多くの場で報告をされていますが、今後も検討が必要な状態です。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 傍大動脈リンパ節転移に対する重粒子線治療の検討

[実施期間] 許可日～2030年3月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 QST病院 治療診断部頭頸部胸部腫瘍課

[研究責任者] 磯崎 哲朗

[研究の目的] 腹部（傍大動脈）リンパ節転移に対する重粒子線治療の成績をまとめ、その有効性を評価することです。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々

2005年1月1日以降、この研究が終了するまでに腹部リンパ節転移に対して重粒子線治療を受けた方

●利用する情報及び利用方法

診断名、年齢、性別、喫煙歴、飲酒歴、原発病変の部位・治療方法・病理組織学的検査、採血データ、予後、副作用、CT・MRI・PET・治療計画等の画像に対して調査を行います。

※必要に応じて、実施期間終了時までにご得られたデータを情報取扱いの安全管理された電子システムにより集計します。新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名そのほか個人を特定しうる情報は一切公表しないこととします。

（個人情報保護法及び国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、実施期間中いつでも受け付けておりますので、下記窓口にお申し出ください。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。データの収集や解析は2022年10月1日以降に開始いたしますが、それ以降にお断りされた方のデータも原則として取り除いて解析を行います。ただし、お申し出があった時点で既にデータが個人情報と切り離された状態で解析に用いられてしまった場合などには取り除けないことがあります。その場合も個人情報が表に出るような形で発表は行いません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区六川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院

治療診断部頭頸部胸部腫瘍課 磯崎 哲朗 電話：043-206-3306（平日8：30～17：00）